



1. **展覧会の名称** 企画展「土をこねこね1万年～土製品の考古学～」
2. **主催** 埼玉県立歴史と民俗の博物館
3. **後援** 朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、テレ玉、東京新聞さいたま支局、日本経済新聞社さいたま支局、NHKさいたま放送局、毎日新聞さいたま支局、読売新聞さいたま支局、FM NACK5
4. **会場** 埼玉県立歴史と民俗の博物館 特別展示室・季節展示室
5. **会期** 令和8年7月11日(土)～8月30日(日)  
休館日：月曜日  
(※ただし7月20日(月・祝)、8月17日(月・臨時開館)は開館)
6. **時間** 9:00～17:00 (観覧受付は16:30まで)
7. **観覧料** 一般：400円 高校生・学生 200円  
団体料金(20人以上)：一般 250円/高校生・学生 150円  
※同日に限り常設展示室もご覧いただけます。  
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方(付添1名)は無料

## 8. 展覧会の概要

土をこねて形を作り、焼いて道具にする営みは1万年以上続いてきました。縄文時代の土器の出現は煮炊きを可能にし、食生活を豊かにしました。さらに土は、耳飾りなどの装飾品や漁具の錘といった生活用品だけでなく、土偶・動物形土製品など祭祀に関わる造形にも用いられます。成形が容易な粘土は作り手の発想を反映しやすく、縄文から古墳時代にかけて、ひと・動物・モノをかたどった多様な品が生み出されました。本展では埼玉県内出土資料を中心に紹介し、当時の人々が身近な存在をどう見て、どう表現したのかを探ります。

また本展覧会は、かわいい、面白いなど感じたことをおしゃべりしながら見学していただくこと

をコンセプトに開催しますので、小さな子供から大人まで、幅広い方々に楽しんでいただけること  
と思います。乳幼児や未就学児などの博物館デビューにもおすすめです。

## 9. 展示内容

### ○第一章 ひとをかたどる

#### (1) 土偶と埴輪

「土で作られたひと」といえば土偶と埴輪が代表的です。土偶と埴輪の表現された姿（大きさ・身なり・表現）、作り方、使い方の違いに焦点をあてながら、土製品から読み取れる当時の人々の  
思いに迫ります。

#### (2) ひとの顔がついたもの

土偶や埴輪のようにひとの全身をかたどったものがある一方で、顔や胴体などひとの一部を土器  
などの装飾の一つとして表現したものもあります。顔などのひとの一部が表現された資料などを紹  
介します。

### ○第二章 動物をかたどる

人々は、身近な動物を全て土製品にしたわけではなく、土でかたどられた動物はイヌ、トリ、イ  
ノシシなど、一部に限られていたようです。なぜその動物が選ばれたのかに注目し、人々にとって  
どのような存在だったのかを考えます。

### ○第三章 モノをかたどる

縄文時代のキノコ形土製品や弥生時代の銅鐸形土製品など、本来は土製ではないものを土でかた  
どったものや縄文時代のミニチュア土器など小さく模倣したものを紹介します。

## 10. 主な展示資料



中空ミミズク土偶

(小林八束1遺跡 埼玉県教育委員会蔵)



人面付き土版

(地獄田遺跡 久喜市教育委員会蔵)



**琴を弾く男子埴輪**

(船山古墳 埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵)



**イヌ形土製品**

(長竹遺跡 埼玉県教育委員会蔵)



**クルミ形土製品**

(デーノタメ遺跡 北本市教育委員会蔵)

## 11.関連事業

### (1) 体験事業「粘土ぺたぺた土版づくり」

日 時：令和8年8月16日(日) ①10時～、②14時～(計2回)

申込期間：令和8年6月23日(火)～7月23日(木)

内 容：学芸員の解説付で展示会を観覧後、縄文時代の土版をモデルに、粘土で土版を作成し土でのモノづくりを体験します。



## (2) 配布事業「おうちでぬりぬり土製品ぬり絵」

期 間：企画展開催中

内 容：展示資料をモチーフにしたオリジナル塗り絵を配布します。

## (3) 県内施設連携事業「埼玉縄文カード第2弾（土製品編）」

期 間：企画展開催中

内 容：県内の出土品に親しんでもらうため、過去の特別展で好評だった「埼玉縄文カード」の第2弾を当館ほか県内の展示施設10館で来館者に配布します。



## (4) 学芸員による展示解説

①7月20日(月・祝)、②8月8日(土)、③8月15日(土)、④8月29日(土)

いずれも13時30分～14時00分 事前申込不要

※8月15日(土)は小学生向けの展示解説を予定

※各関連事業の申込方法の詳細は、本展チラシ又は当館ホームページ等でご案内します。

## 特別展 HP (埼玉県立歴史と民俗の博物館 HP)

<https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/konekone>

## 担 当

埼玉県立歴史と民俗の博物館

特別展示・広報担当 別所、木村 (広報窓口) 大見

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219

TEL 048(645)8171 FAX 048(640)1964

E-mail m4108906@pref.saitama.lg.jp (特別展示・広報担当代表)